



Via Latina 22

2025 年 8 月 345 号

総本部よりのお知らせ－マリア会

内 容

記念式典と誓願式の日	1
ラテンアメリカの地区集会	3
CLAMAR 議長の任命	4
革新に着手し将来を構築するマリアニスト教育会議	4
総本部共同体の新たなメンバー	6
シャミナード神父の列福 25 周年のお祝い	6
私たちの希望の母なる聖マリアへの祈り（ガーナ）	6

記念式典と誓願式の日

2025 年 6 月 28 日（土）、コートジボアールのマリア会は、柱の聖母修練院にて神様に恵みを感じ、忠実を誓う祝典を執り行いました。この日は、神への深い誓約と感謝に満たされ、修道生活の活力と継続性を象徴する一日でした。この日のハイライトは、疑いもなく、3 名の兄弟、Samba Evariste、Guy Roland、Prince Obed の修道誓願式でした。この厳粛な行為は、真剣な霊的歩みの到達点と、この若者たちが清貧、貞潔、従順の誓願を通して行う神への決定的な誓いを表すものです。この誓願式は、自分の生涯を教会とマリアニストカリスマへの奉仕に捧げることを選択したこれらの新しいメンバーを喜んで迎え入れるという、共同体全体にとって計り知れない喜びのときです。



同時に、Quattara Beda Guy Fiacre 士が有期誓願を更新しました。この行為はそれほど意味のないものではありません；それは、自分の養成期間中の重要な段階を示すものであり、マリアニスト召命への彼の固い信奉を確認するものです。最後に、この日は Zady Claude Gérard Sery 士の修道生活 25 年の銀祝を祝う機会でもありました。四半世紀に及ぶ奉仕、献身、そして忠実は、測り知れない恵みであり、また、信仰教育のカリスマに捧げられた生活全体です。銀祝は歩んできた進歩、乗り越えてきた課題、そして、もたらされた成果に感謝する機会です。



これら 3 つの祝いは、それぞれ別個なものですが、本質的には繋がっており、マリアニストカリスマの実現に向けて一つになります。この 3 つの祝いは修道生活の異なる段階－選びの確認を含みながら、初誓願から時を経て堅忍の誓願に至るまでの段階－、すなわち、人々の霊的歩みにおいて彼らを養成し、彼らに同伴するという使命に向けられるすべてのこと、を上手く説明しています。

ラテンアメリカの地区集会

ラテンアメリカの最初の地区集会が 2025 年 7 月 8 日から 10 日にかけてペルー、リマにて開催されました。地区のメンバー 25 名と、CLAMAR ゾーンに属する他 10 名の会員、そして、総本部教育局長、デニス・バウテイスタ士と霊生局長、パブロ・ランボー師も出席しました。

この集会の後、CLAMAR ゾーン会議が開催され、ラテンアメリカ地区長評議員と USA 管区とスペイン管区の両代表者、Reinaldo Berrios 士と Rogelio Nuñez 士が加わりました。



左より 新地区長評議員会：Javier de Aguirre 師、Jesús Obando 師、Mauricio Silva 士と Victor Müller 師

集会では、初めに異なる特別地区からの発表が行われました。開始のミサの中で、新しい地区長評議員が就任しました。この就任式は、地区を構成する様々な特別地区の SM 会員と FMI シスター間の絆を強固にし、成長させるのを助けてくれる恵みと兄弟的出会いの時間でした。祈り、祝い、寛ぎの時間が設けられ、また、もちろん、地区の現在と未来について一緒に考える時間もありました。



それから、霊的対話を通して先の総会についてグループ別に考察するため、長い時間が充てられました。また、教育上の懸念事項にも取り組みました；たとえば、AI の影響、地区の教育ネットワークの状況（CLAMARED）と養成に関わる課題（CELAFOM）、若者と召命

司牧活動…また、地区を構成する異なる特別地区の現状と課題に目を向ける時間を取ることで、
などです。

CLAMAR 議長の任命



総長、アンドレ・ヨセフ・フェティス師は、ブラジル、バウル共同体の Rogelio Nuñez 士を 3 年間の任期でラテンアメリカ・マリアニスト会議 (CLAMAR) 議長として任命しました。この任命はゾーンメンバーとの意見聴取の後、実施されました。私たちは、マリア会へのこの奉仕にすすんで応えた Rogelio 士に感謝します。

この会議に出席した CLAMAR メンバーは、ラテンアメリカ地区とゾーンの中の他のマリアニストの存在 (メキシコ、プエルトリコ、キューバとブラジル) 間の協力の重要性を理解して、Rogelio 士を責任者として推薦しました。

CLAMAR は、ゾーンの共同プロジェクトとして、ラテンアメリカ・マリアニスト研修センター (CELAFOM)、教育ネットワーク (CLAMARED)、ラテンアメリカ・ボランティア (VLM) を創設しています。

私たちは退任する議長、Luis Casalá 師に特別に感謝します、彼は 2019 年から素晴らしい知恵と献身を持って CLAMAR を導きました。



革新に着手し将来を構築するマリアニスト教育会議

“*Juntos cuidamos el future*” (将来について一緒に気を配りましょう) のモットーの下に [リンク : <https://congresomarianista.com/>], スペインとブラジルのすべてのマリアニスト学校から 650 名以上の参加者がサラゴサに集まり、200 年以上になるマリアニストの伝統を祝い、マリアニスト教育の将来に向けた共有する道筋を鼓舞しました。この会議は、信仰、教育法、そして革新的な教育経験を分かち合うために、リーダー、教育者、生徒、そして家族を一致させました。

参加者の中には、総長評議員会 3 名のメンバーが出席していました：総長、アンドレ・ヨセフ・フェティス師；霊生局長、パブロ・ランボー師；教育局長、デニス・バウテスタ士。

これは、この規模でマリアニスト教育の基盤をまとめる初めてのこの種の行事であり、マリアニスト教育のため実践的結果を約束して、スペイン管区と Grupo SM がイニシアティブを取った野心的な行事でした。



ハイライトは、国内および国際的な教育者による専門家の講話、独創的授業を進めている学校の 20 のプロジェクト、そして柱の聖母聖堂での感動的なミサでした。Carlos Escribeno 大司教が“あえてシャミナードのように夢を見ましょう”と皆を励ましました。



注目に値する出来事としては、マリアニスト教育法についての魅力的な紹介、祈りと式典の分かち合いを通して助長された強い共同体意識、そして、マリアニスト教育を具体化する生徒と先生から家族と卒業生に至るまでの多様な意見への賛辞がありました。

会議概要の重要な場面はビデオを見てください。

[YouTube リンク：<https://youtu.be/fCiCOf61sis?si=vqLJopWRpOs3F2qL>]

総本部共同体の新たなメンバー



総本部共同体は、東アフリカ地区から Erick Otiende 士を次の 9 月からそのメンバーとして喜んで受け入れます。Erick 士は長年、ナイロビで学生修道院の責任者として働き、そして現在、デイトンの NACMS センターにて 1 年間のマリアニストカリスマ養成期間を終えています。彼は総本部の色々なプロジェクト、特に若者の司牧に関するプロジェクトに協力しました。私たちは彼を心から歓迎し、この任務のため彼に赴任を許した東アフリカ地区に感謝します。

シャミナード神父の列福 25 周年のお祝い



2025 年 9 月 3 日、私たちはシャミナード神父の列福 25 周年を祝います。私たちは、全マリアニスト家族と共に、教会と私たち家族に賜ったこの大きなお恵みを神と聖母マリアに感謝します。

全世界マリアニスト家族のメンバーと一つになって、私たちはマリアニスト家族世界評議会によって準備された資料を用いて、この最も重要な日に祈りのうちに一つになります。

私たちは、この記念日の機会に皆さんが有する記録、写真、そして刊行物を私たちと分かち合ってくださいようお願いします。それを José Ignacio Iglesia 士に送付してください：

wcmf-sec@marianist.org

私たちの希望の母なる聖マリアへの祈り（ガーナ）



私たちの希望の母、優しさと慈しみに満ちた母なる汚れなきマリアよ、あなたは世界の希望をその心に宿しておられます。

私たちは信頼と献身のこころを持ってあなたの御許に近づきます。

ガーナにおけるこの新たな宣教の道を、私たちと共に歩んでください。

私たちはこのあなたの宣教活動においてあなたと共に網を打ちたいと思います。

なぜなら、この活動はあなたの中にその霊示と模範を見いだすからであり、また、私たちがこの活動を受け入れるのは、あなたの名の下に、あなたの栄光のためであり、あなたを知らせ、愛させ、そして使えさせるためだからです。

この宣教活動の達成に向かって、マリアニスト家族および教会と一致して働く恵みを私たちにお与えください。

神の母、私たちの希望の母なる聖マリアよ、
生まれたばかりの私たちの共同体を見守りください。
この共同体が喜びと希望の光を放ちますように。
この共同体が熱意と忠実さをもって、その宣教と創立者たちのカリスマに向かって生きますように。
この共同体が聖者の民の証しとなりますように。
そして、この共同体が祈りと仕事に励み、それを通して、
若者たちがあなたに奉仕する喜びを知ることが出来ますよう。
この共同体が聖霊に促されて、福音を地の果てまでもたらしめますように。
罪の汚れのないおとめマリアによって、父と子と聖霊が至る所で讃えられますように。
アーメン！

最近の総本部通信

- 訃報：15 号
- 7 月 16 日：福者ギョーム・ヨゼフ・シャミナードの列福を神に感謝するための祈りとノベナ、
3ヶ国語でマリアニスト家族世界評議会から全マリア会修道者あて
送付

総本部日程

- 9 月 29 日－10 月 30 日：総長評議員会が東アフリカ地区を訪問

Via Latina 22 の次号は 2025 年 10 月 1 日に発行されます。